

「ふくしま食と農の絆づくり運動いわき地方推進本部会議」を開催しました

平成21年2月27日(金)、県いわき合同庁舎会議室において、「ふくしま食と農の絆づくり運動いわき地方推進本部会議」を開催しました。

会議では、いわき農林事務所高坂所長の挨拶の後、議事に移り、いわき地方における「ふくしま食と農



の絆づくり運動」の推進に向けた主な取り組みの進捗状況と特徴的な取り組み事例、平成21年度の取り組み内容について審議がなされました。

今後とも、関係機関が一体となったさらなる運動の展開が望まれます。(企画部)

「いわき地方グリーン・ツーリズム推進会議」を開催しました

平成21年2月13日(金)、県いわき合同庁舎会議室において、「いわき地方グリーン・ツーリズム推進会議」を開催しました。

いわき農林事務所五十嵐企画部長の挨拶の後、議事に移り、いわき管内における平成20年度グリーン・ツーリズム関連の取り組みや平成21年度の計画、また、いわき地方における子ども農山漁村交流プロジェクトの現状と課題について意見が交わされ、各構成員からは多くの意見をいただきました。

その後、南会津農村生活体験推進協議会での子ども農山漁村交流プロジェクトの取り組みについて、当事務局長の湯田文則氏から御講演をいただきました。



講演では、町村合併した際に観光産業にスケールメリットを見出し、その柱に教育旅行を位置づけ、観光公社を設立した経過や、受入するために急遽、登録農家を募ったこと、今年度、国のモデル地域指定となつてからの実際の受入状況について、御講演をいただきました。

今後、出された意見を反映させ、当会議としても、より発展的な活動を行ってまいりたいと思います。(企画部)

「ふくしま森林文化フォーラム2009」がいわき市で開催されました

平成21年2月7日(土)、いわき明星大学薬学部大講義室において、福島県の主催による「ふくしま森林文化フォーラム2009」が開催されました。このフォーラムは、森林環境税を財源として昨年度に引き続き開催されたもので、今年度は「海の人々と森との関わり」をテーマに実施され、200名を超える多くの方々が詰めかけ、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

前半の基調講演では、宮城県で漁業を営むかたわら「牡蠣の森を慕う会」の代表を務める畠山重篤氏が、森と海の関係を「森は海の恋人」と例えながら、森-川-海の関係について、分かりやすく、かつ化学的に講義されました。また、後半のパネルディスカッションでは、福島県立博物館長の赤坂憲雄氏をコーディネーターに、各パネラーから様々な角度からの話題や意見が提供され、海の人々と森との関わりや、ふくしまの森林文化について、活発な話し合いが行われました。

ディスカッション終了後に行われた質疑応答においても、参加者から多くの意見等が出され、予定を大きくオーバーしてフォーラムは閉会しました。今回参加された方全員が、森-川-海のつながりを正しく理解し、森林づくりの大切さや、これからの自らの行動に対する責任についても、深く考える良い機会となったようです。(森林林業部)



フレッシュ農業ガイド講座を行いました

いわき農林事務所では、磐城農業高等学校と連携し、学校教育への支援や農業のPR等を通じ、就農環境の整備に努め、次代を担う若い農業担い手の確保育成を図ることを目的として、農業高校等連携促進事業に取り組んでいます。

平成21年2月23日(月)、磐城農業高校において園芸科1年生を対象に、フレッシュ農業ガイド講座を開催しました。内容は、いわき農業青年クラブ連絡協議会員による農業に対する考えや就農のきっかけ等の事例発表と、花きの販売現場の観点からフラワーアレンジメント実習を行いました。

生徒は実際に農業を実践している若い農業者の生の声を聞き、また、いわき農業青年クラブ連絡協議会の活動も知ることができ、貴重な経験となった様子でした。



次のフラワーアレンジメント実習では、思い思いにアレンジメントを楽しみ、個性のある作品に仕上げていました。フラワーアレンジメントを実施するに当たり、生育のよい花き生産が大切であることを理解されたのではないかと思います。

今回のフレッシュ農業ガイド講座が、今後の学校生活に役立つことを期待しています。

(農業振興普及部)

女性農業者育成セミナー

「より魅力的な消費者交流活動を目指して」

平成21年2月24日(火)、中央台公民館でいわき地区生活研究グループ連絡協議会会員を対象に「第3回女性農業者育成セミナー」を開催しました。普及指導協力委員の大町達夫氏を講師にお迎えし、「いわきの農産物を使った料理講習」と題して、地産地消なべ、自然薯ムース、自然薯とまぐろのギョウザを調理実習しました。

いわき地区生活研究グループ連絡協議会では、消費者との交流活動「いわきの郷土食をつくる会」を平成14年から実施してきました。昨年のセミナーでは、大町先生から講師としての心構えなど郷土食をつくる会の活動へのアドバイスをしていただいております。今年は実習を交えながら、食材の使い方はじめ、準備・段取り、レシピ、参加者を惹きつける教え方、盛りつけなどを教えていただきました。

みりんや酒を煮きりに炎を上げたり、ギョウザを手早く包む技術といった惹きつける場面がちりばめられ、グループ員から「うわー」、「へー」といった声が上がリ、真剣な表情で先生の技に見入っていました。

グループ員は、公民館イベントの講師や学校での食育授業の講師を務めるなど、郷土食の活動を通じて活躍の場が広がっています。「スムーズな進行には十分すぎるくらいな準備が必要」、「随所に参加者が驚くようなことを入れておき、飽きさせない工夫」、「分量を量りながらの調理はちょっと面倒だと感じたが、食べて納得」など、参考になったとの意見が多く寄せられました。また、郷土食をつくる会ではどうしてもレシピがあいまいになっていましたが、今回、先生のレシピをもとに家で調理し、セミナーの味が再現でき、家族にも喜ばれたとのことで、改めて、講習中だけでなく家に帰ってからでも作ってもらわなければ郷土食料理は広まらないことを実感し、そのためにはレシピが重要であることを再認識したそうです。

本セミナーを通じて、「より魅力的な交流活動をしていこう」と生活研究グループ員の気持ちをさらに強めることができました。今後も女性農業者が生産者と消費者の橋渡し役として、いきいきと活躍されることが期待されます。

(農業振興普及部)

いわき農林事務所からのお知らせ

☆4月9日(木)、山火事防止パレードを実施します。
皆様の御理解、御協力をお願いします。





◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp